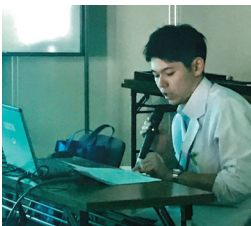


ペガサスグループ
多職種連携講座開催医療ソーシャルワーカーの役割とは？
多職種が互いに学び合う講座を開催。

ペガサスでは、毎月、ペガサスカレッジ「多職種連携講座」を開催。5月17日の講座では、医療福祉相談室の大島光康が「医療ソーシャルワーカー（MSW）のお仕事」をテーマに話をし、約50名の職員が参加しました。

MSWは、社会福祉の観点で患者さまを支援しています。患者さまやご家族のさまざまなニーズを把握し、希望



される生活の実現や問題解決に向けて、必要なサービス・制度をご案内します。また、関連機関やスタッフとの連絡・調整を行い、生活や療養の場が変わっても、継続したケアを受けていただけるように努めています。

今後も、職員同士が互いの仕事について理解を深めることで、よりよいチーム医療を提供してまいります。

社会福祉法人風の馬・ペガサスグループ
介護の「実務者研修講座」開講

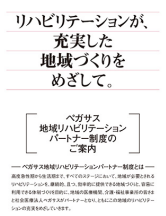
介護福祉士の資格取得を支援。

平成28年度の介護福祉士国家試験より、受験要件に実務者研修の修了が義務づけられました。これを受け、風の馬では、平成29年度より実務者研修の講座を開講。ペガサスの医療・介護・福祉事業での実績をもとに作られた当講座は、現場で使える介護、医療を学べます。ペガサスグループでは、介護領域に意欲的に取り組む方を全面的に支援し、地域の介護の質向上をめざしていきます。

ペガサスグループ
地域リハビリテーションパートナー制度

地域リハビリテーションのさらなる充実を。

ペガサスでは、＜ペガサス地域リハビリテーションパートナー制度＞をスタートさせました。地域のリハビリテーションマップの作製や、多職種向け研修会の開催などを実施し、地域の医療機関、介護・福祉事業所の皆さまとともに、リハビリテーションが充実した地域づくりをめざしていきます。

ペガサス地域包括
ケアセンター

「なんでも相談」窓口あります
場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。
多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。
まずはお気軽にご相談ください。
お問い合わせ／TEL:072-265-5558
(担当 平岩)

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がい者の方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL：072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

9月 ペガサスセミナー

内容未定

講師：ペガサスケアプランセンター神戸
所長 森 早苗
日時：9月28日(木)午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

9月 ペルセウス介護
支援セミナー利用しよう!
ペガサスの通所事業所
～通所事業所を利用し、在宅生活を送りましょう!～

講師：介護福祉士 谷 徳文
日時：9月29日(金)午後2時30分～
場所：介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3階食堂

10月 ペガサスセミナー
和泉

内容未定

講師：薬剤部
日時：10月26日(木)午後2時～3時
〔予定〕
場所：介護療養型老人保健施設エクス

9月 ロイヤルリゾート
健康相談会

9月開催プログラム

内容：足腰きたえていきいき元気
日時：9月13日(水)午前1時30分～
場所：ペガサスロイヤルリゾート

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人／馬場武彦
発行／社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発行／平成29年8月25日

Vol. 77

ペガサスから地域の皆さまへ

ペガサスリハビリテーション病院が初の「病院機能評価」を受審しました。

平成29年5月25日・26日に、ペガサスリハビリテーション病院は、初めての病院機能評価を受審しました。病院機能評価とは、医療を提供するための基本的な活動や機能が、適切に保たれているか、医療の質が維持されているか等を、第三者機関が中立的な立場で評価するものです。当院では、昨年6月にプロジェクトチームを発足。医療の提供体制やマニュアル等を改めて振り返り、初の受審に臨みました。当日の訪問審査では、各部門の責任者に対して面談形式で



の聞き取りがあったほか、調査担当者が実際に各部門を訪問し、病棟ケアプロセス、薬剤・物品の管理状況、基準・手順等の確認が行われました。



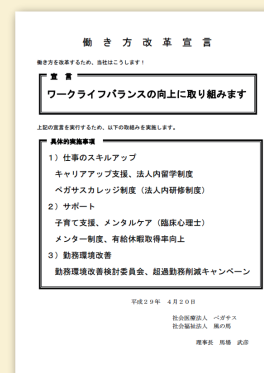
書類・訪問審査を経て、6月28日に（公財）日本医療機能評価機構から、「一定の水準に達している」と、受審結果の中間報告を受けました。とくに評価されたのは●患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している ●人事・労務管理を適切に行っている ●職員にとって魅力ある職場となるよう努力している…の3点。当院の、患者さまや職員に対する姿勢が、高く評価される結果となりました。

正式な審査結果が届くのも、もう間もなく。職員一同、認定証が届く日を、晴れやかな思いで待ち望んでいます。

「働き方改革宣言」を掲げ、
働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

「働き方改革宣言」とは、大阪労働局の施策で、働きやすい職場づくりをめざす大阪府内の企業等が、それぞれに宣言を掲げ働く環境の改善に取り組むものです。社会医療法人ペガサス、社会福祉法人風の馬では、すでに大阪労働局のホームページに「働き方改革宣言」を掲載しました。

ペガサス、風の馬の宣言は、＜ワークライフバランスの向上に取り組めます＞というものです。職員のスキルアップやサポート、業務改善に取り組んでいます。職員自身が健康でいきいきと働き続けることで、皆さまへ継続した質の高いサービスを提供できるよう努めています。

西川慎介看護助手の勇気ある行動に
堺市堺消防署から感謝状。

馬場記念病院で勤務する看護助手の西川慎介が、6月9日に、堺市堺消防署から感謝状を贈呈されました。

5月15日の午前10時、マンションに鳴り響く火災報知器の音。西川は、1階ですさまじい黒煙があがっているのを確認すると、すぐさま119番に通報。ほかの住人とともに、火元の部屋で倒れていた女性を安全な場所に救出したのち、周囲にも火事であることを伝え避難を促しました。



感謝状を手にする西川慎介と堺市堺消防署長

「仕事を通じて命の尊さを学んでいたため、迷わず行動に移せました。どんなときでも、目の前に困っている人がいたら、手を差し伸べられる自分でいたいですね」と西川。迅速な対応により、女性は一命をとりとめ、人的被害は最小限にとどめられました。

ウイルスの増殖を抑える薬で、 早期に症状を改善。

監修
皮膚科部長 梅香路 綾乃

悪化させないためのポイント

- 早めに受診する
- しっかり服薬する
- ゆっくりと休養をとる

抗ヘルペスウイルス薬で 早期に症状を改善。

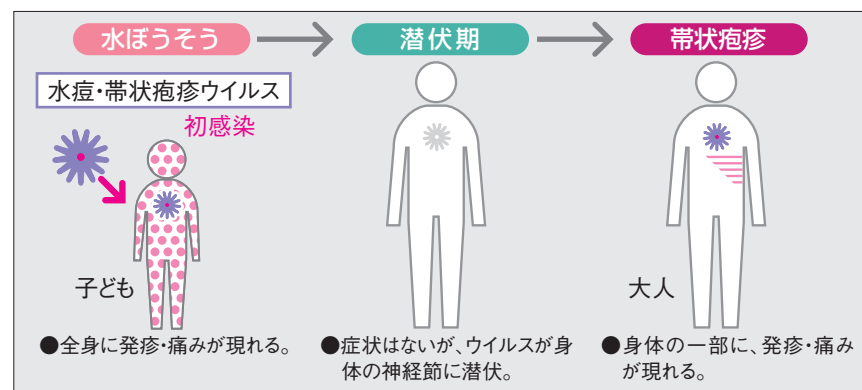
治療は、抗ヘルペスウイルス薬が中心となります。ウイルスの増殖を抑えることで、皮膚症状や痛みを早期に改善します。さらに、合併症や後遺症である帯状疱疹後神経痛のリスクを軽減することが期待できます。抗ヘルペスウイルス薬は、効果が現れるまでに数日かかるため、途中で服薬を中止せず、医師の指示通りに服用しましょう。症状によっては、消炎鎮痛薬、痛みに対する神経ブロックの治療を行う場合もあります。

日常生活ではできるだけ安静にし、患部を冷やさないようにします。水ぶくれは、破れないように気をつけましょう。また、水ぼうそうとして感染させることがないように、乳幼児との接触を控えてください。

当院では、皮膚科専門医がきめこまやかな診察・治療を行います。必要に応じて入院治療も可能です。

免疫力が低下すると 潜伏ウイルスが現れる。

帯状疱疹は、身体の中に潜んでいた水痘（すいとう）・帯状疱疹ウイルスによって起こります。初めてこのウイルスに感染したときは、水ぼうそうとして発症しますが、治ったあともウイルスは体内の神経節に潜伏し続けます。加齢やストレス、過労などが引き金となり免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが活動を始め、神経から皮膚に向かい帯状疱疹として発症します。



高度化する透析治療を 安全に安心に。

人工透析への高い知識と 技術を備えた専門家。

人工透析は、腎不全などで低下した腎臓の機能を人工的に補うことで、身体の状態を一定に保つ治療法です。この人工透析におけるスペシャリストを＜透析技術認定士＞といいます。

本資格は、日本腎臓学会をはじめとした、学術5学会からなる透析療法合同専門委員会が認定する専門資

格です。現在、当院の医療機器管理（ME）部に、3名の透析技術認定士が在籍しています。

「業務上の通過点として、資格を取得しました。透析に関する情報を取り逃がさないように、学会等で最新の情報収集ができるように努めています」。

（大塚 裕之 臨床工学技士）



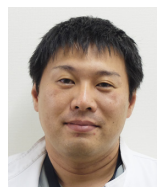
「透析治療における機器操作や物品種類の高度化・複雑化が進んでいます。患者さまに、いつでも安心して

治療を受けていただけるよう、安全性や質の向上に貢献したいと思います」。

（堀田 幸佑 臨床工学技士）

「当院には、脳卒中を併発し他施設から転院される患者さまも多く、透析の管理には高い知識が求められます。透析治療が適切に行える環境づくりが重要です」。

（塚本 賢治 臨床工学技士）



TOPICS 1 ペガサス訪問看護ステーション 大阪府看護事業功労者表彰式

ペガサス訪問看護ステーションが 大阪府知事から表彰されました。

平成29年5月13日に、ナーシングアート大阪にて開催された「平成29年度大阪府看護事業功労者表彰式」において、ペガサス訪問看護ステーションが表彰されました。この表彰は、業績が優秀、且つ、他の模範ともなると認められた訪問看護ステーションが、大阪府知事から表彰されるものです。今年度、大阪府内で栄誉ある賞に選ばれたのは、全3施設。その中の一つが、ペガサス訪問看護ステーションです。

当ステーションは、地域の皆さまが療養される際に、安心して在宅での生活を続けていただけるよう、真摯に取り組んできました。今後も、医療・介護・福祉との連携をはかりながら、訪問看護を継続していきます。



TOPICS 3 ペガサスロイヤルリゾート・ペガサスロイヤルリゾート石津 ペガサス健康クラブ 会員募集中

介護予防と健康増進のカギは、 毎日の効率的な運動習慣にあり。

ペガサスロイヤルリゾート、ペガサスロイヤルリゾート石津では、介護予防と健康増進を目的に「ペガサス健康クラブ」を開設しました。平日の毎朝、30分程度の体操と起立着座運動を行います。自立した日常生活を送られている方も、介護を必要とされている方も、それぞれの身体状況に合わせた、適切な運動プログラムをご提案して



- 開催：月～金 毎朝8：30～（30分程度）
- 内容：体操・起立着座運動
- ※月に1回、理学療法士や看護師が、血圧、握力、体脂肪率などを測定し、運動の効果を評価

【お問い合わせ】

ペガサスロイヤルリゾート TEL：072-265-9030
ペガサスロイヤルリゾート石津 TEL：072-265-3401

TOPICS 2 馬場記念病院 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

摂食嚥下の機能を高め、 ＜楽しく安全に食べる＞。

馬場記念病院では、入院早期からスタッフが病棟に向き、摂食嚥下障害のある患者さまに対して、摂食嚥下のリハビリテーションを行っています。その役割の中心的存在となるのが、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士です。

今回新たに、学会認定士の資格を取得したのは、中津有規言語聴覚士。「資格取得を機に、摂食嚥下そのものだけではなく、栄養などの関連分野も学びました。さまざまな視点から、患者さまの嚥下の評価や訓練ができるセラピストでありたいと思います」（中津）。

当院では、患者さまの＜楽しく安全に食べる＞を実現するために、一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションに取り組んでいます。



中津 有規 言語聴覚士

TOPICS 4 馬場記念病院 循環器科医師 地域医療研修

医師教育に力を注ぎ、 地域医療への対応力を強化しています。

馬場記念病院の循環器科では、診療に携わる医師一人ひとりが、幅広い対応力を身につけられるよう、医師教育に力を注いでいます。そ



北部地区医師会附属病院心臓血管センター 心臓カテーテル室の一環として、2017年春の3カ月間にわたり、長谷川聡史医師が、沖縄県の「北部地区医師会附属病院心臓血管センター」へ。沖縄北部随一の心臓血管センターとして、山間へき地の医療を担う病院で、研鑽を積みました。

「研修先ではさまざまな疾患の治療を経験し、どのような循環器疾患にも対応できるという自信ができました。心臓血管外科の医師と話す機会も多く、外科的治療に



長谷川聡史 循環器科 医師

ついて学べたことは大きな収穫」と長谷川医師。

循環器科では、院外での学びを活かし、地域の患者さまにより質の高い医療を提供できるよう、チーム一丸となって邁進し続けます。